

# 漁海況月報

令和6年9月4日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

## 1 海況

### ○ 黒潮流路

8月28日の人工衛星画像によると、黒潮は大蛇行流路を継続しており、野島崎沖北緯30度付近から石廊崎沖北緯34度へ向かって北上するA型流路となっている(図1)。

### ○ 渥美外海の状況

黒潮の北上部は、下旬以降、東へ移動しており、渥美外海から離岸傾向にある。一方で、渥美外海の海面水温は、黒潮系暖水の波及の影響が継続している影響で高温傾向となっている。

### ○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡(名瀬-西之表)の潮位差は高水準で推移しているが、潮岬沖の冷水渦の勢力が大きいことから今後も大蛇行流路が継続すると考えられる(図2)。

(参考: 潮位データを用いた黒潮モニタリング; <https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)

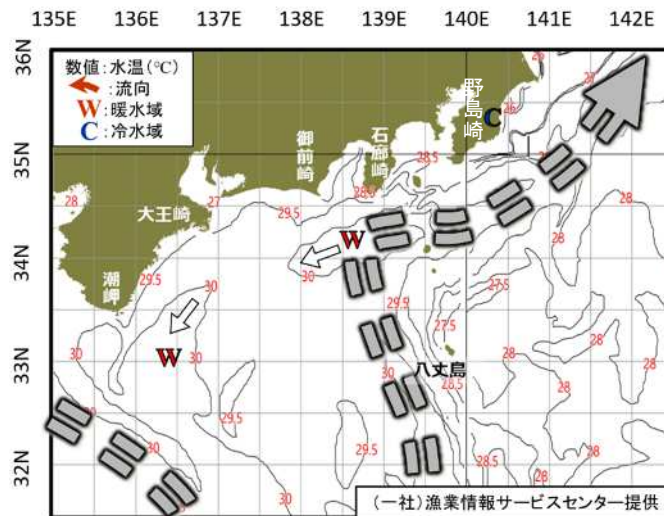


図1 海況の現況[2024年8月28日]

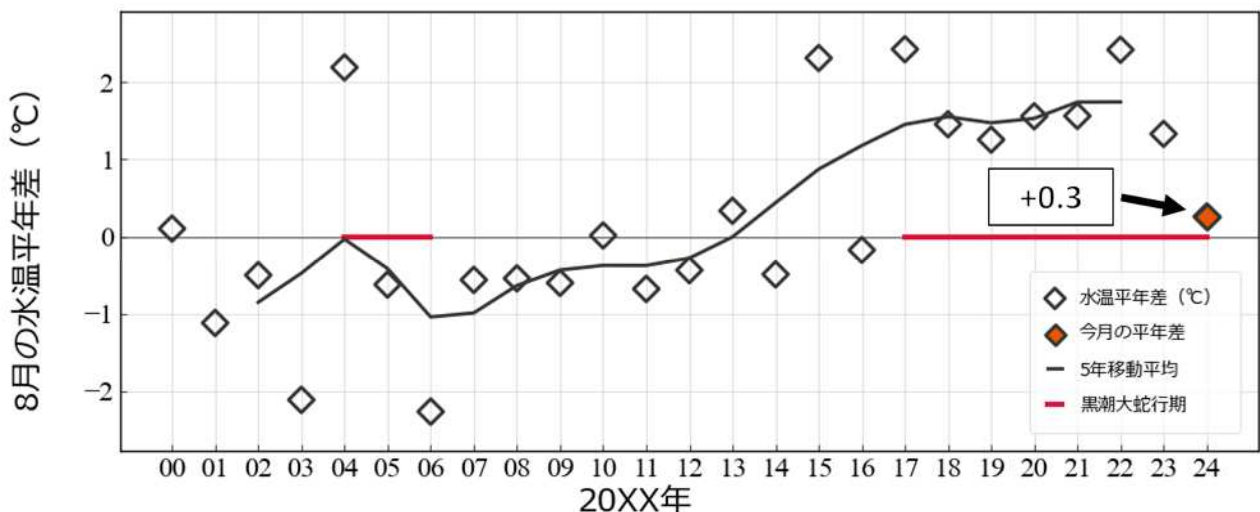


図2 沖合域の水温 (A4点、A12点、A19点の水深200mの平均)

## 2 イワシ類

### (1) シラス

しらす連合会の8月の出漁日数は7日で、月初に集中(8月9日までに6日)した。7月下旬から伊勢湾内での漁場形成状況が良好となり、8月9日まで継続した。1カ統あたりの1日の平均漁獲量は、8月2日に今漁期最高の64カゴとなった(図3)。資源保護のため操業時間の短縮も行われた。しかしその後は、魚探の反応が少なくなり、下旬からは台風の影響により出漁を見合わせた。

カタクチシラスの大きさは、漁獲が好調であった8月9日までは、2cm未満の小型のシラスが確認され、3~4cmの個体を中心に漁獲されていた(図4)。

8月末時点のシラスの月計漁獲量(430トン)は、前年同月(135トン)を上回り、平年同月(過去10年平均525トン)を下回った(表3)。

8月の卵・稚仔魚調査は、伊勢湾は上旬(8月5日)と下旬(8月20,21日)の2回実施した。上旬の調査では、表層水温の分布から湾北中部は内湾系水に、南部は外海系水に覆われており、カタクチイワシの卵及び仔魚は、湾北中部で多く採集された(図5)。また、湾北中部では、夜光虫(*Noctiluca*)が高密度で採集され、南部では見られなかった。

下旬の調査では、卵は、湾内は湾北部三重県側と湾中部に、外海では少なく、志摩半島沿岸のみで採集された。仔魚は、湾内は全体的に少なく、湾中部三重県側で相対的に多く採集された。外海では、卵と同様に志摩半島側で多く採集された(図6)。

伊勢湾の卵採集数(1,069個)は、昨年(5,798個)及び平年(1,985個)を下回り、仔魚採集数(82尾)も、昨年(1,946尾)及び平年(741尾)を下回った。

8月上旬にまとまった漁獲量があったのは湾北中部で、そこには動物プランクトンが多く分布していた。このことから、シラスの餌料環境が好転し、生残状況が改善したため、漁獲に繋がったと考えられた。例年、8月にも外海で漁場が形成するが、今年は形成しない。外海の卵稚仔の採集結果を見ると、志摩半島側に分布が集中していた。湾内の卵・稚仔が三重県側に流出し、渥美半島沿岸に漁場が形成しにくい状況が続いている。内湾の海況と共に外海の海況にも注目する必要がある。今後の産卵水準は季節的に低下するが、内湾では卵が確認されており、今回のように仔魚の餌料環境が良好になれば、漁獲量の増加に期待できる。

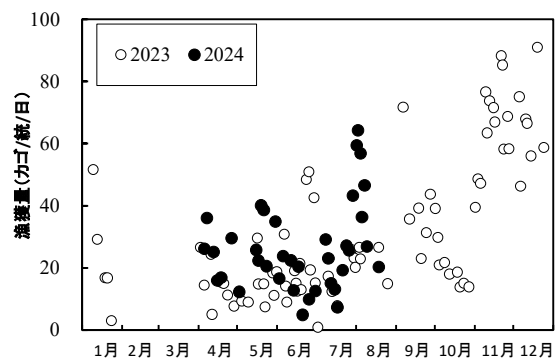


図3 シラス CPUE の推移

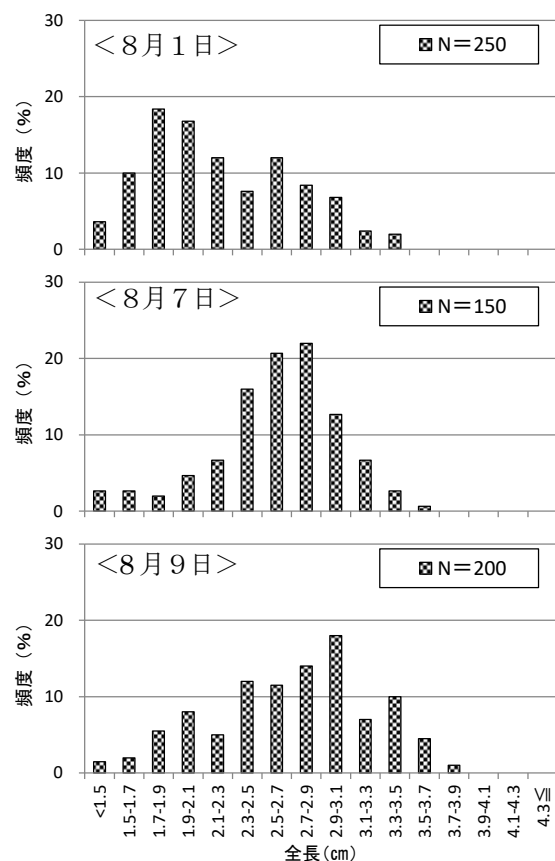


図4 カタクチシラスの全長組成の推移

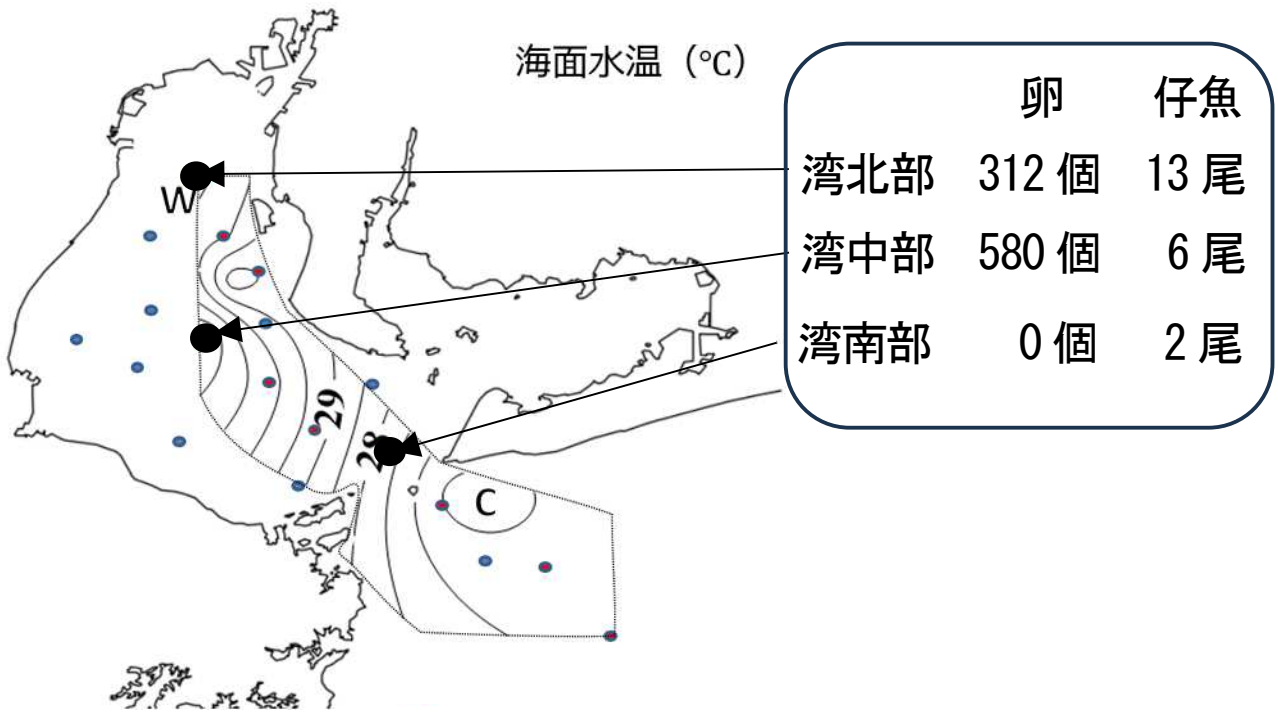


図5 改良型ノルパックネットによるカタクチイワシの卵・仔魚の総採集数と表層水温 (2024年8月5日)

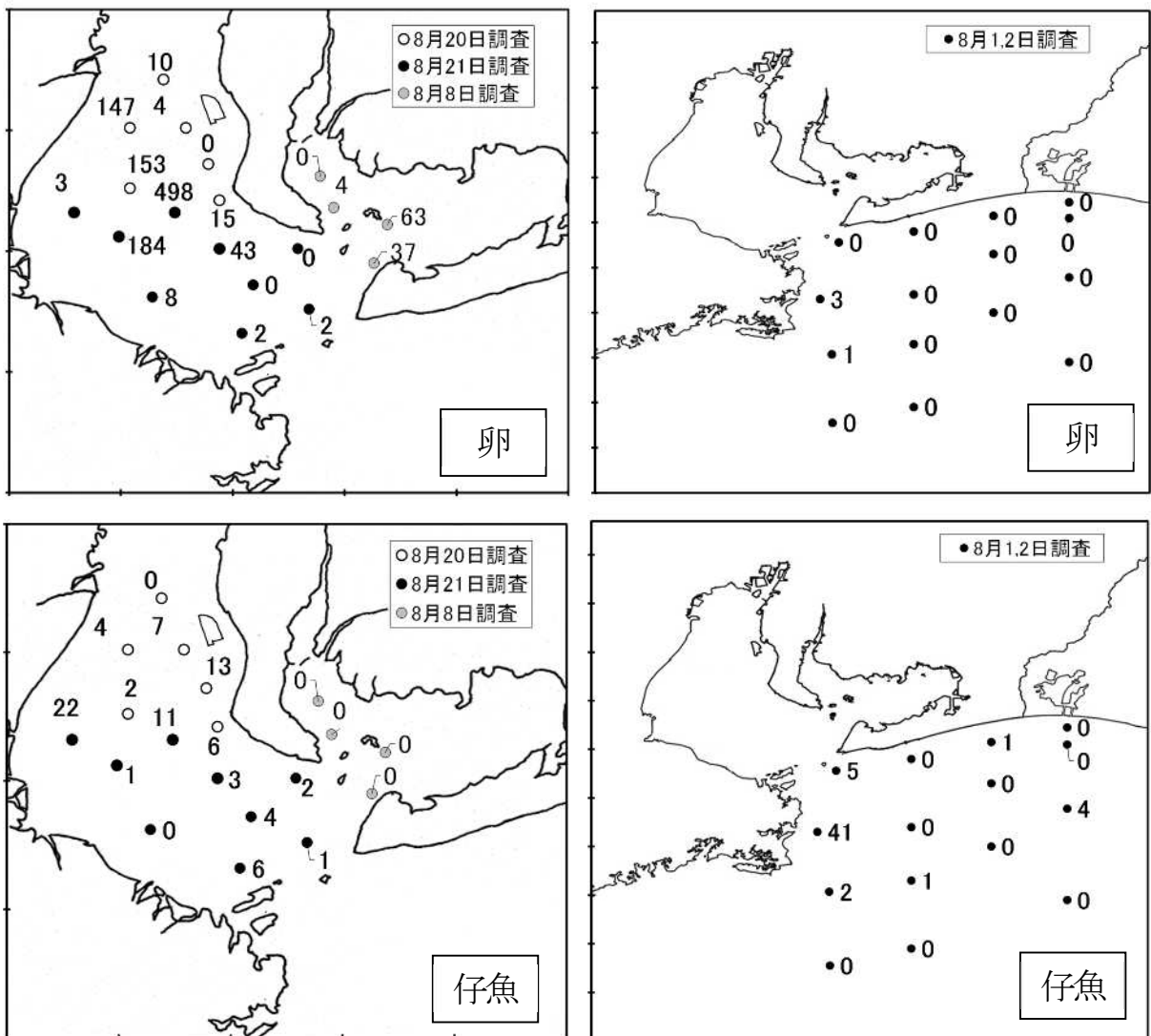


図6 改良型ノルパックネットによるカタクチイワシの卵・仔魚の総採集数 (2024年8月8,20,21日 (内湾)、8月1,2日 (外海))

## (2) マイワシ・カタクチイワシ (未成魚・成魚)

ぱち網は2～3回/週の頻度で出漁し、8月の出漁日数は9日(盆休み、台風対策等の12日間を除く)であった。漁場は8月12日までは伊勢湾でカタクチイワシ主体、盆休み明けの19日から自主的に禁漁していた三河湾の一部を解禁し、マイワシ狙いの操業が行われた。マイワシ資源保護のため、操業時間を短縮して操業したが、まとまった漁獲は2日間で終わり、その後はカタクチイワシ主体となった。

1日1カ統あたりの平均漁獲量は、カタクチイワシは0～14トンで、7日以降半減した(図7)。マイワシは0～17トンで、7日に伊勢湾、19、21日に三河湾でまとまった漁獲があった(図8)。

カタクチイワシの体長は7月と同様、8～11cmの個体が多く、特に9～10cmの個体が多かった。三河湾でも伊勢湾同様、大型の個体が確認された(図10)。

マイワシの年間漁獲量が多い年は、平均体長が小さい傾向にあり、2024年は2019、2020、2022、2023年同様、平均体長が大きく来遊尾数が多い年と考えられた(図9)。例年どおり、体長は、伊勢湾より三河湾の方が大きい傾向にあった(図11)。

カタクチイワシの生殖腺熟度指数KGは6、7月に比べ8月は低下し(図12)、季節的に今後も産卵水準は低下していくと思われる。

8月のカタクチイワシの月計漁獲量(1,120トン)は昨年(3,691トン)及び平年(2,208トン)を下回り(表4)、マイワシの月計漁獲量(825トン)は昨年(10トン)を上回り、平年(3,074トン)を下回った(表5)。

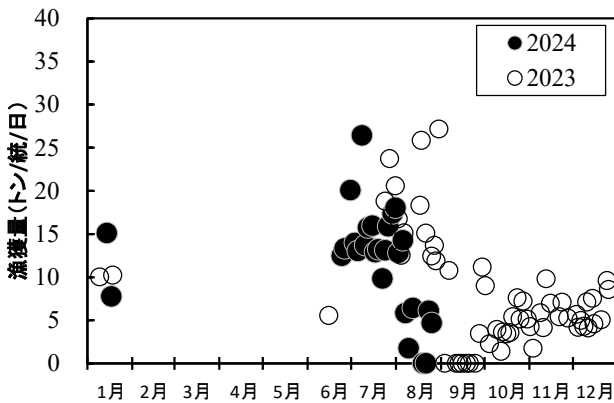


図7 カタクチイワシのCPUEの推移

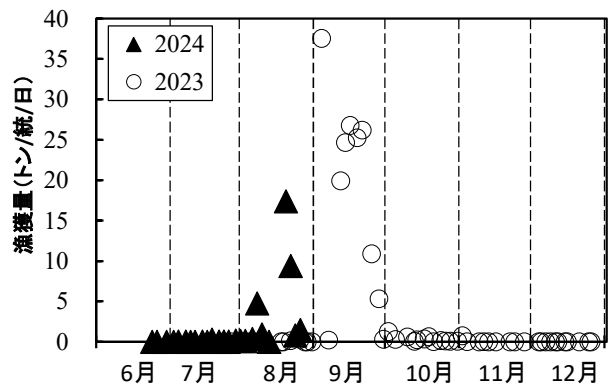


図8 マイワシのCPUEの推移

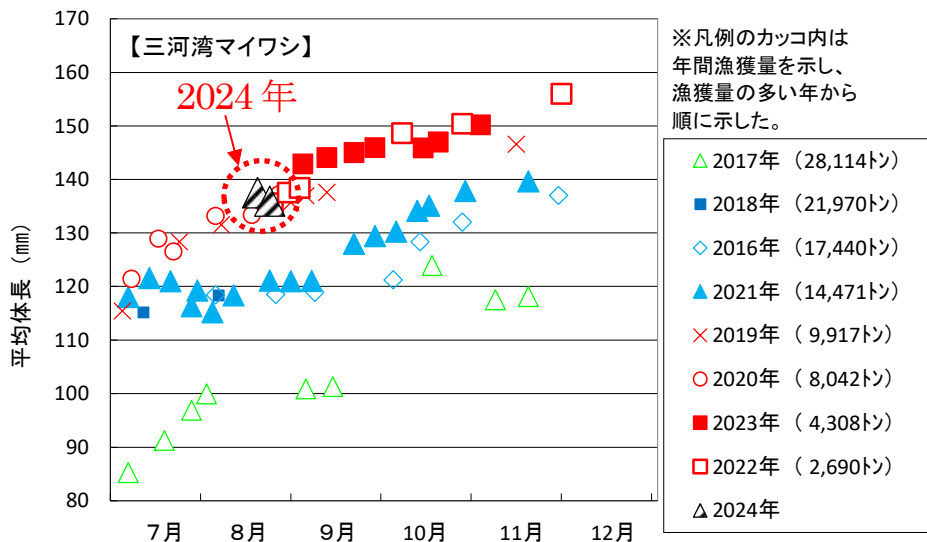


図9 三河湾で漁獲されたマイワシの平均体長の推移

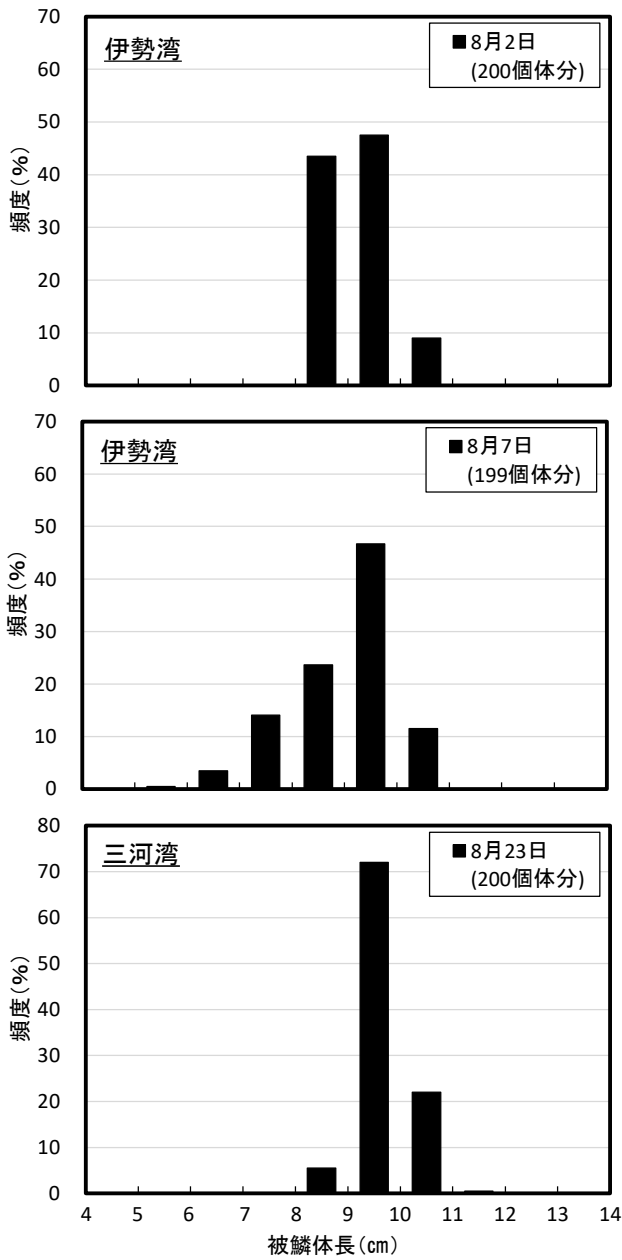


図 10 カタクチイワシの体長組成の推移

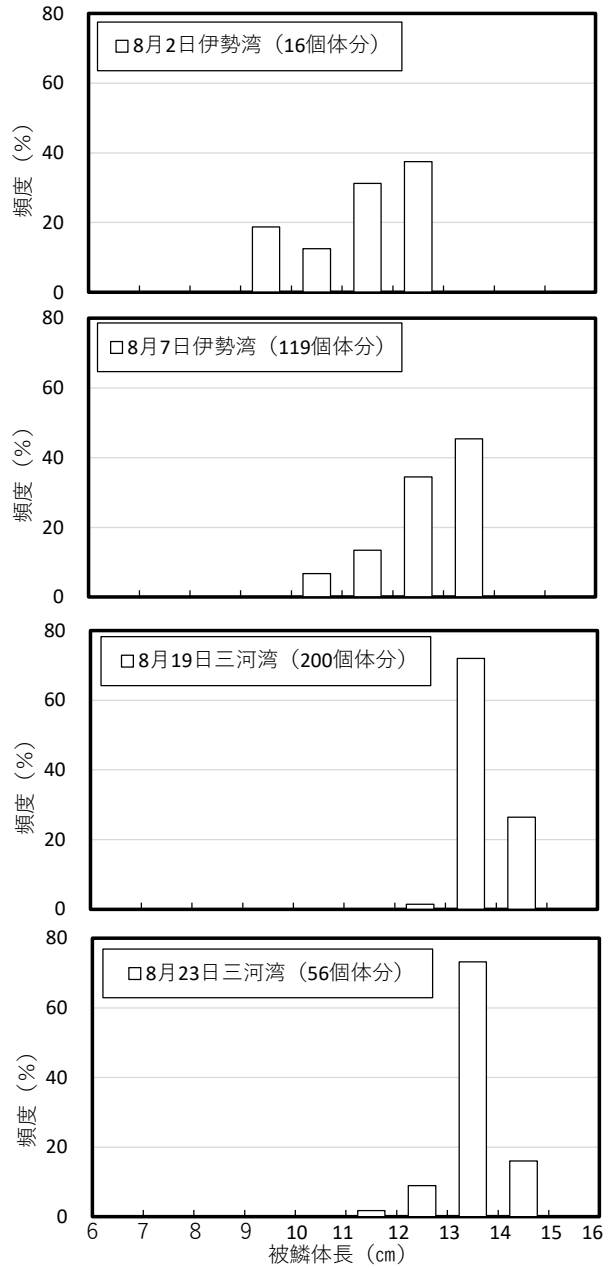


図 11 マイワシの体長組成の推移

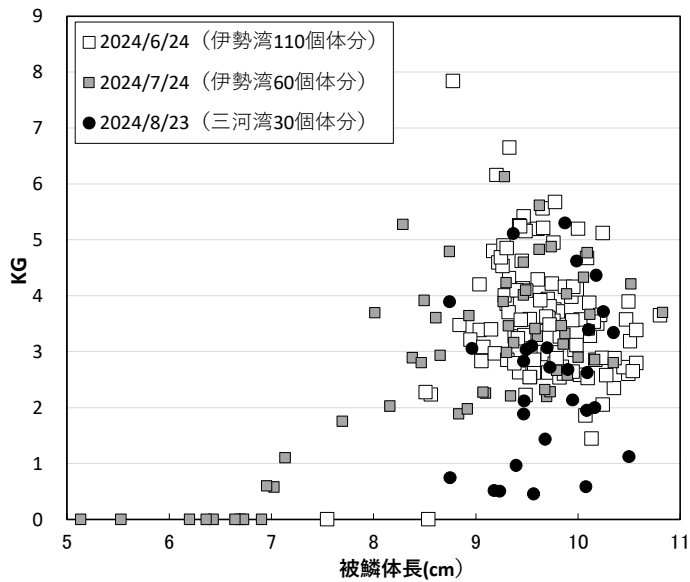


図 12 カタクチイワシの生殖腺熟度指数 KG

※2022年9月の調査定点は3定点。

表1 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数(15点合計)

※2024年4月の調査定点は2定点。

(単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5	0	0	0	1,042
2023	0	0	0	1	3	82	130	12	89	欠測	5	0	322
2024	0	欠測	0	0	欠測	214	117	4					335
10年平均	0	0	104	153	68	107	118	68	48	25	1	1	686

表2 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数(15点合計)

(単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	-	-	-	1	191	160	30	1,305	61	132	768	-	2,648
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	62	-	1,036
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435	462	336	-	9,269
2023	-	-	-	0	132	3,256	2,004	5,798	1,216	欠測	29	-	12,435
2024	-	-	-	4,252	4,893	4,120	371	1,069					14,705
10年平均	-	-	-	406	1,166	1,506	1,241	1,985	385	184	174	-	6,991

表3 愛知県シラス類漁獲量

※8月30日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,767
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	82	158	4	335	3,232
2023	145	0	10	194	243	595	169	135	335	245	1,239	646	3,956
2024	4	1	22	272	380	206	284	430					1,598
10年平均	16	2	92	747	1,509	711	281	525	471	739	687	467	6,248

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

※8月30日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,453	3,462	1,118	1,055	1,044	10,169
2023	81	0	0	0	0	13	1,501	3,691	574	1,310	895	883	8,949
2024	160	0	0	0	0	1,102	4,600	1,120					6,982
10年平均	184	37	14	82	135	1,628	2,994	2,208	1,882	1,293	1,068	875	12,400

表5 愛知県マイワシ漁獲量

※8月30日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,666	179	791	52	0.15	2,690
2023	0	0	0	0	0	0	0	10	4,195	86	18	0	4,308
2024	0	0	0	0	0	0	18	825					844
10年平均	42	12	0	0	23	596	2,661	3,074	2,877	1,759	800	333	12,177